

## 令和7年度本科2学期 始業式式辞（令和7年9月1日）

2学期が始まりました。夏休みは計画通りに過ごせましたか。

こんなに毎日“暑い!”と思いながら過ごした夏休みはこれまでにないと記憶していますが、皆さんはどうでしたか。44日間の夏休みでしたが、元気で充実した毎日を過ごせたでしょうか。また、この夏は、何かにチャレンジできましたか。

この猛暑の中、夕涼み会や今週4日実施のオープンハイスクールの準備運営をしてくれた生徒会を中心とした皆さん、株式会社 NAGAZON の販売実習のシフトに入ってくれた皆さん、2 学期以降の販売実習等のため開発商品の在庫数量を増やすため製造してくれた皆さん、東京研修に参加した皆さん、アルバイトを頑張った皆さん、様々な活動を通じて良い学びを経験できたことと思います。これも立派なチャレンジです。

本日の式辞では、「在りたい自分を探す」ことについて話したいと思います。在りたい自分を探すためには、その判断材料を増やす必要があります。そのために、これからいろいろなことを経験して人とのつながりを増やしてほしいと思っています。

私が以前本校に教員として勤務した際に出会った一人の卒業生について紹介します。その生徒は昨年春に大学卒業と同時に兵庫県教員として採用されました。高校時代には、入学当初より自らの意志で何でも挑戦し、大変行動的でした。例えば九州福岡県での豪雨災害被災地ボランティアへ県下の定時制高校生と参加したり、阪神淡路大震災 1.17 復興ボランティアやピンクリボン啓発ボランティアでは、社会人の方々と準備・運営をするだけでなく、街頭で啓発のティッシュ配りを実施しました。そんな活動を通して、自身の弱みを実感しながらも、挑戦して人と関わることの大切さを学びました。本人は、元々将来的にフリースクールを作りたいという夢をもち、教員免許を取ればフリースクールを作るのに役立つ勉強ができるのではないかと考えてましたが、3年生になり商業科目の面白さ、学ぶことの楽しさに気づき、定時制高校では難しいと言われる日商簿記検定2級をはじめ、全商検定3種目1級に合格しました。そしてそのことがさらに「4年制大学へ進学して学び続けたいという気持ち」と「私も高校の教員になって子供たちに夢を与えられる人を目指したい」という夢へと繋がりました。本人からのメッセージを読みます。

～自分自身が商業の勉強で自信をつけたように、私も商業の勉強で生徒に自信がつけられるような教育をしていきたいと思いました。長商に入学した 15 歳の時には、こんな未来になるとは想像もしていませんでした。人生はタイミングと言いますが、長商での経験が人生に影響しています。色々な人がいる環境だからこそ、人に対して思いやりを持ち、より大人として成長できる機会だと思います。『どうせ、定時制だから…』と失敗した時の保険をかけるのではなく、がむしゃらに色々なことに挑戦して、『定時制だから出来ること』をしてほしいです。私は、授業までは検定の勉強をしていました。定時制だから、授業までの時間アルバイトをする人もいます。『定時制だから…』自分だけの時間は作りやすいかと思います。その時間何をしますか？何ができますか？卒業後の自分を想像して、どんな自分になりたいかを考えてみてください。目標を決めて『逆算』して、動き出してみましょう。～ 本校の先輩だからこそそのエール

でした。

いつもと同じことをしていると新しい情報が入らずモチベーションは上がりません。この2学期以降、行ったことのない世界へ行き、会ったことのない人に出会い受けたことのない刺激を受けてください。いろんな人の話を聞いたり、いろんな新しい経験をするにより、視野を広げ新たな興味や可能性を見つけることができます。新しい体験の中にこそ、将来大きく育つ夢の種が潜んでいます。

最後に、3年生へ。これからいよいよ進路決定に向けた山場に入ります。先生方からも同様の話をされるとは思いますが、自分軸で決めた学習への取組をやり切ることが大切です。「焦るな、ブレるな」じっくりと腰を据えて、目の前のことにしっかり取り組んでください。自分の将来を描きながら、最後まで「行きたい進路先」にこだわしましょう。先生方や仲間を信頼して、落ち着いて毎日を過ごしましょう。みんななら出来る、応援しています。そして1・2年生は、とにかく元気で先ほども卒業生のお話をしましたが色々なことにチャレンジして下さい。株式会社 NAGAZON の取組も勉強もこれからの経験が将来に必ず繋がります。頑張ってください。

この夏に培ったものを土台に、自分軸で、全力で様々な活動に取り組み、2学期が皆さんにとって充実した毎日になることを期待して、始業式の式辞とします。